



1/23 にんじんの日

へきなん美人PR活動(東京都)



JAあいち中央にんじん部会の皆さんと東京のスーパーで、へきなん美人のPRに今年も参加しました。

1/26 第22回安城風あげ大会(安城市)



安城の文化保存、伝承を目的として発足した「桜井風保存会」の皆さんと一緒に。お天気にも恵まれ晴天の青空の下、空高く舞い上がる風に心躍りました。竹内りょうと安城市議と。



2/1 油ヶ淵美化ネット活動(碧南市)



水を綺麗にしてくれる草の成長を願いながら草刈り&清掃活動。多くの中学生が参加。頼もしく思いました。

2/2 上重原町風揚げ大会(知立市)



子どもたちと一緒に風の制作です。それぞれにこだわりや個性があり、楽しいひと時を過ごすことができました。

2/2 おとうふ工房いしかわ
青空朝市 豆まき(高浜市)



小垣江神明神社宮司による無病息災のお祓い&豆まきを行いました。「もっと遠く〜！」に全力投球。

2/15 丸山今朝三展(安城市)



第27回近代美術展で内閣総理大臣賞を受賞された安城市文化協会元会長、丸山今朝三氏の作品を鑑賞。光と影、独特の色調と世界観に引き込まれました。

3/2 井ヶ谷町芸能発表会(刈谷市)



様々な世代の方が日頃の活動の成果を遺憾なく発揮。皆さんから元気と活力をいただきました。石井拓も一曲熱唱♪

〔発行〕石井拓事務所 自由民主党愛知県第十三選挙区支部

安城事務所 〒446-0039
安城市花ノ町49-96 Actis HANANOKI D号
Tel 0566-87-7407 Fax 0566-87-7055

碧南事務所 〒447-0877
碧南市栄町4-82 丸源ビル102
Tel/Fax 0566-48-2920



141の日 街頭活動

毎月1と4のつく平日に碧海5市の駅等で街頭を行っています。直接ご挨拶をさせていただくことで、活動の励みになります。見かけたら気軽に声をかけてください!!



郷土愛で結ぶ
地域づくり

撮影協力：日本料理 一灯(碧南市)

昨年秋の選挙で落選以来、自民党愛知県第十三選挙区支部長として再度就任し、地域に更に密着した政治家として活動しています。地域住民の暮らしの向上と安全安心、地域経済の好循環を目指し、まい進します。引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

さて、私の政治理念の一つに「郷土愛で結ぶ地域づくり」があります。碧海5市の自然や郷土史、伝統芸能、食文化を再発見し、広める活動です。それに携わる方や団体を応援することで自然環境保護や街づくり、観光資源として発展させ、皆さんが「ここで生まれてよかった。」「住んでよかった。」と思える地域にすることが目標です。

今回、地域の食文化を研究し広める活動をされている一般社団法人 南三河食文化研究会 理事長 石川伸 様と対談する機会を得ることができました。その内容について次ページにまとめました。是非ご一読下さい。生まれ育った地域の食文化を再発見するとともに食材や調味料、調理方法などを守り、後世へ伝えていくことの大切さを再認識いたしました。また、「観光」「学術」「IT」「女性の活躍」など私たちの暮らす碧海地域に更に活力をもたらすヒントを得ることができました。今後の政治活動に活かし、実践してまいります。

自由民主党愛知県第十三選挙区支部長

石井拓

#141taku

石井が拓く!



石井拓

<https://141taku.com>



南三河の魅力をもっと！ 食文化を通じて地域づくり



？ 南三河食文化研究会とは

昨年6月に発足した一般社団法人 南三河食文化研究会は、矢作川を中心に西は知多半島の東部地域から、東は岡崎、本宿、幸田、北は旧東海道より南の沿岸部までの地域を「南三河」とし、この地域の食文化を多面的に研究する会です。みりん、白しょう油、みそ、日本酒などの発酵醸造メーカーも多く、伝統的な食材や加工食品、食文化、郷土料理があります。理事長を務める石川伸さん（株式会社おとうふ工房いしかわ代表取締役）と対談する機会を得ました。

— 地域は食文化で結ばれている

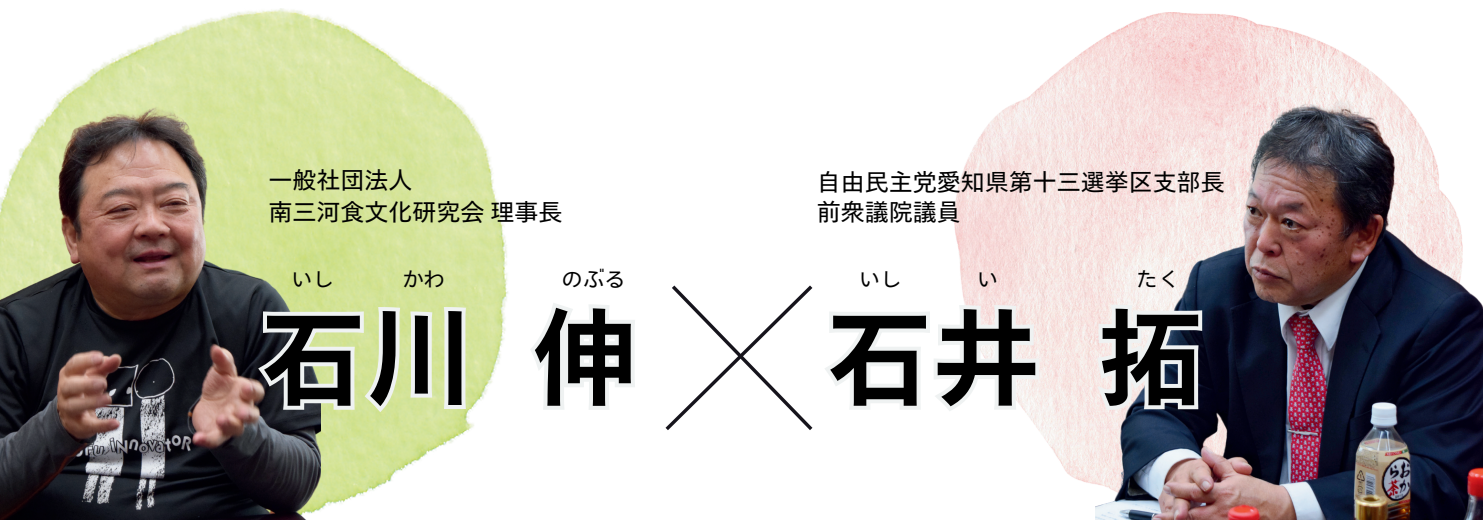


石井 実は南三河という言葉に慣れていなくて。南三河とされたのはどうしてですか。

石川 地域というくくりは古来、食文化で形成されていると思います。食文化は女性によって伝わる。つまり婚姻関係のあるところの範囲が食文化であり、地域性が高いといわれるゆえんだと思います。それが南三河かなと思い名付けました。食べ物は地域で生産、流通、消費され地域の経済圏を形成してきました。そこで食する味は各家庭で違いはあれども同じ食材、調味料を使っています。「これが地元の味」というものは共通していて、「同じ釜の飯を食う」の例えのとおり、人と人とのつながりに共感と協調が生まれ人間関係を作りながら文化や風習、産業が育ってきました。食品というものを軸にして、あるいは原動力として、地域経済を元気にしていこうというのが私たちの活動の一番大きな目的です。

石井 現代、物流が高度化して食材や調味料も日本全国から、海外からも入ってきます。出来合いの物を食べる機会も増え、飲食店もチェーン店が増え、家庭で受け継がれてきた味、地元の味というものが失われてしまうのではないかと思います。いかがですか。

石川 「不易流行」という言葉があります。いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものを取り入れていくこと。味も同じだと思えます。食材は時代とともに変わりますが、「おいしい」と思う主観、つまり幼少期に生まれた自分の根っこにある「おいしい」は変わらない。食材、調味料、料理方法は変化を重ねることはありますが、「おいしい＝家庭の味」というものは大切にして欲しい、そのことを広め材料を提供することが重要な活動だと思えます。



一般社団法人
南三河食文化研究会 理事長

いし かわ

のぶる

石川 伸

自由民主党愛知県第十三選挙区支部長
前衆議院議員

いし い

たく

石井 拓

— 三河に足りないもの「観光」「学術」「IT」

石井 先月行われた交流会で三河に足りないものは「観光」「学術」「IT」で、食文化を通じてこういった産業をつくっていきたいとお話していましたが。

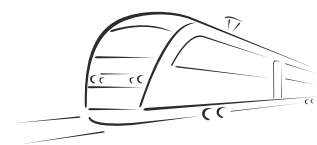
石川 IT企業はニューヨークのような大都市ではなく地方の都市で生まれています。以前、シリコンバレーに視察に行ったときIT企業で働く人たちの食や職場の環境に驚きました。その周辺にはオーガニック農園や産直のマーケットがあり、ハイキングや自然に親しむ環境があります。食や健康、自然環境に対する思いの高い人が新しい産業をどんどん生み出しています。三河にはこのような人間が生きるに素晴らしい環境があります。こんなに食材がそろい、醸造や調味料産業が数多くある地域は他にありません。海や山にも近い。1時間圏内で自然あふれる場所に行けます。

石井 IT産業やクリエイティブな研究機関、観光、環境保護、食品など新しい産業が育つ環境、好条件が三河にそろっているということですね。それらは女性が活躍しやすい産業でもあります。今後行われる刈谷、安城、知立で行われる駅前再整備はオフィス街としても期待できます。

石川 愛知県の行っているスタートアップ拠点施設「STATION Ai」は名古屋にありますが、三河安城駅など交通の便の良い三河にそのようなスタートアップ拠点施設があるといいなと思います。



— 三河の観光は「関係人口」をつくることを目指す



石川 京都のような観光地として確立されてなく、北海道、沖縄などのリゾートでもない。滞在型を求める外国人旅行者にとっては施設見学で通り過ぎてしまいます。「関係人口」という言葉があります。観光客いわゆる交流人口を増やすだけでなく、その先の「関係人口」を増やすことを三河も目指すべきだと思います。訪れる人が体験を通じて祭りやイベントの運営に参画するなど交流を重ね、地域づくりに関わる機会を上手く提供できれば良いのではと思います。三河には食や伝統文化、自然環境など魅力たっぷりですから。

石井 碧南市、半田市、西尾市、常滑市の4市で醸造文化を観光資源としてPRする「竜の子街道プロジェクト」を進めてきましたが、観光資源を活かしきれていません。観光客の交流人口からさらに進んだ関係人口に至るまで仕掛けなければならないということですね。

石川 観光客が常連客になり、1か月滞在が1年滞在になり、やがて自国と行ったり来たりの生活となるように。少し時間はかかりますが、種を蒔いていくしかないでしょうね。

— 今後の展開は

石川 今後も交流会や意見交換会を定期的に行います。世界で南三河の食品や調味料を評価してもらおうと海外に展開することも行います。国内に向けては全国の面白い食材を活用して新しい食品も開発します。情報発信基地として「ららぽーと安城」、「刈谷ハイウェイオアシス」、「三井アウトレットパーク岡崎」に地元食品と全国の面白い食品の販売を行う予定です。

石井 今回、お話を伺い、今後の三河地域の産業、街づくり、女性活躍の場の創出など私たち地方政治の果たす役割、未来に向けた方向を示していただけたと思います。皆さんの活動は多岐にわたると思いますが、私たちが暮らすこの地域の活力につながることで大いに期待しています。今後の展開を楽しみにしています。また、ご教示ください。ありがとうございました。

